

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2 単位 四大編入	学術文献読解	高山 有紀	2 年次	春

授業のキーワード	大学における学問 知の技法 志望領域・大学の決定
授業の概要	四年制大学で、「何を」「どのように」学びたいのかを明確にするため、大学での学習の入り口で読むべき、基本的な文献の読解を行います。予習が必要な授業です。原則として編入希望者を歓迎します。
期待される学習成果（目標）	①大学1年次レベルの学習を体験することができます。 ②四年制大学で中心的に学びたいことが明確に定まっていない人は、方向性を決めることができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	はじめに	本講の進め方と、大学における学問領域について説明します。	第9講	中間のまとめ	提出された課題をもとに、意見交換します。
第2講	哲学	哲学に関する入門書を読み、理解します。	第10講	生命・環境	生命・環境に関わる入門書を読み、理解します。
第3講	歴史学	歴史学に関する入門書を読み、理解します。	第11講	教育学	教育学に関わる入門書を読み、理解します。
第4講	文学	文学に関する入門書を読み、理解します。第2講～4講までの学習内容から、課題を出します。	第12講	その他	履修者の志望領域に即した文献を読みます。
第5講	中間のまとめ	提出された課題をもとに、意見交換をします。	第13講	その他	履修者の志望領域に即した文献を読みます。
第6講	法学	法学に関する入門書を読み、理解します。	第14講	その他	履修者の志望領域に即した文献を読みます。
第7講	社会学	社会学に関する入門書を読み、理解します。	第15講	まとめ	本講での学習内容を総括します。最後の課題について説明します。
第8講	(図書館)情報学	図書館情報学に関する入門書を読み、理解します。第6講～8講までの学習内容から、課題を出します。	定期試験		第3回目の課題が試験です。授業で読んだ文献に関連する課題を示し、レポートを提出してもらいます。
評価方法		授業への取り組み50%、課題および試験に対する評価50%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書を使用せず、プリントを配布します。			直江清隆・越智貢編著『知るとは』（高校倫理からの哲学2）岩波書店 福井憲彦『歴史学入門』（岩波テキストブックスα） 高木聖『はじめて学ぶ社会学』（慶應義塾大学出版会）		